

コロナ感染予防対応!

WEBセミナー
受講可能!

トヨタ流開発プロセスと検図・DRの在り方

◆日時: 2021年6月11日(金) 10:00~17:00

◆受講料: (消費税等込) 1名:49,500円

◆会場: 連合会館 205号室

同一セミナー 同一企業同時複数人数申込の場合 1名:44,000円

(東京・JRお茶の水駅下車 徒歩約5分)

システム開発プロセスのあるべき姿,検図の方法,DRの方法について,
自動車システム開発の事例を踏まえ,実践的に分かりやすく解説する特別セミナー!!

【講師の言葉】

現在の製品はハードウェアのみの製品からシステム製品に切り替わってきています。しかし、ハードウェアを過去に設計し、創出してきた企業の多くは、今でもハードウェア中心の開発プロセスであり、ソフトウェアについてはハードウェア設計終了後、ボタンタッチ方式による設計になってしまっております。

そのような開発プロセスでは大きな手戻りが発生する可能性があると共に、問題発生時に「ソフトウェアでなんとか対応できないか」というバッチ当ての対策にしかならず、市場に出てから大きな不具合・クレームに繋がってしまう可能性があります。そのために、システム設計のあるべきプロセスを構築し、ハードウェアもソフトウェアもコンカレントに開発していき、設計の効率を最大化する必要があります。また、設計の精度を向上させるためにDRと検図のイベントを各所に配置し、高いQCDの製品を創出していきます。

本セミナーでは、自動車のシステム開発の事例を解説し、あるべきシステム開発の定義を学習していただきます。

【受講形式】 会場・WEB

【受講対象】 業種: 製造業全般

所属: 技術部門、品質関連部門、製造関連部門

レベル: 若手からベテランまで

【予備知識】 設計のプロセスを理解している方であれば特に制限や予備知識は必要ありません。

【習得知識】 1) システム開発プロセスのあるべき姿 2) システム開発での検図の方法 3) システム開発でのDRの方法

◆ プログラム ◆

【講師】 株式会社A&Mコンサルト コンサルティング部 取締役 中山 聡史 先生

トヨタ自動車にて、エンジン設計および開発・品質管理・環境対応業務などを経て現在に至る

1. 現状の検図とDR

- 1) 間違った検図とDRの紹介
- 2) ボタンタッチ開発の紹介

2. あるべきハードウェア開発プロセスとは

- 1) 設計の役割と責任
- 2) フロントローディングプロセス
 - (1) あるべき開発プロセス
 - (2) 自動車メーカーの開発プロセス
- 3) フロントローディングプロセスのためのツール
- 4) 検図・DRの目的
- 5) 検図・DRの位置付け
- 6) あるべきハードウェア設計検図プロセス

3. あるべきソフトウェア開発プロセスとは

- 1) ソフトウェア設計の課題
 - (1) 間違ったソフトウェア設計プロセス
 - (2) ソフトウェア設計が占める不具合の割合
- 2) ソフトウェア設計のあるべき姿
 - (1) ソフトウェア設計とはソフトウェア設計とは
 - (2) ハードウェア設計とソフトウェア設計連携プロセス
 - ① 構想段階
 - ② 構想試作&評価段階
 - ③ 詳細設計段階
 - ④ 試作&評価段階
 - (3) ハードウェア設計の検図に用いるべきソフトウェア設計の成果物

◆セミナーお申込要領

●申し込み方法

- ・弊社ホームページの申込欄又は、FAXかE-mailにてお申し込みください。
- ・折り返し、受講票、請求書、会場案内図をお送り致します。
- ・開催日の8日前以内のキャンセルは、お受け致しかねますので、必要に応じ代理の方のご出席をお願いします。
- ・開催日の8日前以内のキャンセルの場合、受講料の全額を申し受けます。

●お支払い方法

受講料は原則として開催前日までにお支払い願います。
経理上、受講料のお支払いがセミナー開催後になる場合は、お支払日をお知らせ願います。
振り込み手数料は御社の御負担にて願います。

●申込先  (株)TH企画セミナーセンター

〒105-0011 東京都港区芝公園1-7-8-7F
TEL:03-6435-1138 FAX:03-6435-3685
E-mail:th@thplan.com

検索 TH企画 → サイト内検索 0611 (開催日)

詳細、その他のセミナーは、ホームページをご覧ください。

<http://www.thplan.com/>

●申込書・2021年6月11日(金)「トヨタ流開発プロセスと検図・DRの在り方」

会社名	〒	住所
TEL		FAX
正式所属		正式所属
受講者名		受講者名
E-mail		E-mail
振込み予定		通信欄